

じんラボ『透析患者が抱える悩み』に関するアンケート調査結果

「実施概要」

【調査目的】 週3回、1回4～5時間程度の透析療法を生涯にわたって受けなければならない透析患者の皆さんは、一見健康な方と変わらないことから、日々生活していく上で様々な苦悩に遭遇しても一般的には理解されにくく、抱える悩みや困りごとは尽きません。

そして、透析に関わる医療業界や企業は、皆さんが困っているその本音を知ることによって最新治療やケアの方法、そして商品開発等のアイデアやヒントを得ます。ところが、透析患者さんにとっては当たり前と感じる悩みも、こういった関係者には実はほとんど知られていない現実を目の当たりにします。

そこで、普段はあえて口にするつもりもないであろう悩みを、皆さんの貴重な声として届けていくため、今回は『透析患者さんの知られざる悩みや困りごと』をテーマにアンケートを実施しました。

【調査方法】 WEBアンケート

【調査エリア】 全国

【調査対象】 透析患者 男女 年齢不問

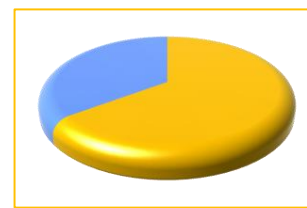
【調査期間】 2016年6月1日（水）～2016年6月8日（水）

【回答者】 透析患者 75名

Q1 性別

- ① 男性
- ② 女性

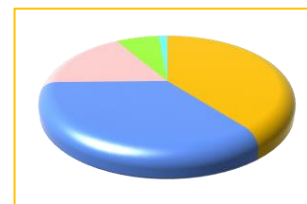
①	46	64.8%
②	25	35.2%



Q2 年代

- ① ～40代
- ② 50代
- ③ 60～65歳
- ④ 66～70歳
- ⑤ 71～75歳
- ⑥ 76～80歳
- ⑦ 81歳～

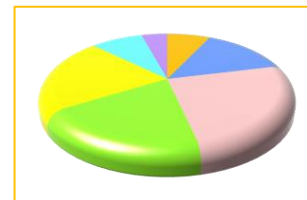
①	28	39.4%
②	25	35.2%
③	12	16.9%
④	5	7.0%
⑤	0	0.0%
⑥	1	1.4%
⑦	0	0.0%



Q3 透析歴

- ① 1年未満
- ② 1～2年
- ③ 3～5年
- ④ 6～10年
- ⑤ 11～20年
- ⑥ 21～30年
- ⑦ 31年以上

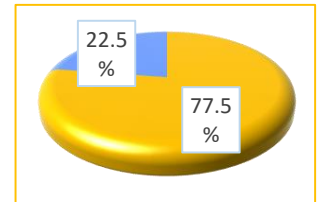
①	5	7.0%
②	10	14.1%
③	18	25.4%
④	14	19.7%
⑤	15	21.1%
⑥	6	8.5%
⑦	3	4.2%



Q5 透析生活で日常的に困っていることや悩んでいることはありますか

- ① はい
- ② いいえ

①	55	77.5%
②	16	22.5%



Q5-1【家族・友人①】 家族が病気に対してあまり理解してくれない

カテゴリー	設 問	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	対象外
家族・友人	1 家族が病気に対してあまり理解してくれない	11.3%	22.5%	33.8%	29.6%	2.8%
	2 友人等の集まりに行けない、または行くことに躊躇してしまう	26.8%	32.4%	18.3%	22.5%	0.0%
仕事	3 就職先がない、またはなくて苦労したことがある	40.8%	16.9%	7.0%	19.7%	15.5%
	4 自分に対し周囲の配慮が足りないと感じることがある	14.1%	29.6%	31.0%	18.3%	7.0%
旅行	5 透析が理由で行くのを断念したことがある	50.7%	28.2%	14.1%	7.0%	0.0%
	6 旅先での透析がもっと気軽に出来れば旅行に行きたい	45.1%	29.6%	16.9%	8.5%	0.0%
恋愛・結婚	7 病気が障害で恋愛や結婚がうまくいかなかったことがある	25.4%	11.3%	11.3%	26.8%	25.4%
	8 病気が理由で恋愛や結婚を諦めてしまっている	26.8%	7.0%	8.5%	26.8%	31.0%
生活	9 他人には自分が透析患者であることをあまり知られたくない	16.9%	16.9%	21.1%	45.1%	0.0%
	10 シヤントを守るために我慢や努力をしていることがある	33.8%	29.6%	28.2%	8.5%	0.0%



Q6 その他、困りごとや悩みがありましたら、自由にご記入ください

【ご意見が多かった内容】

- ・ 夏場、暑くても長袖を着用すること 6
- ・ ドライウェイトの調整が大変、つらい 4
- ・ 透析後の疲れやだるさがつらい、またそれを理解されないこと 4
- ・ 透析生活を生涯続ける不安や気力の低下 4
- ・ 透析に縛られる生活スタイルへの不満 3
- ・ 医師や医療従事者から、指導やアドバイスがもらえない 3
- ・ 医療関係者とコミュニケーションが取れない 3
- ・ 栄養士のアドバイスが理解できない 2
- ・ 穿刺の痛み、つらさ 2